

熊本自殺未遂者実態調査研究2019から 考える熊本における自殺対策



橋本聡¹

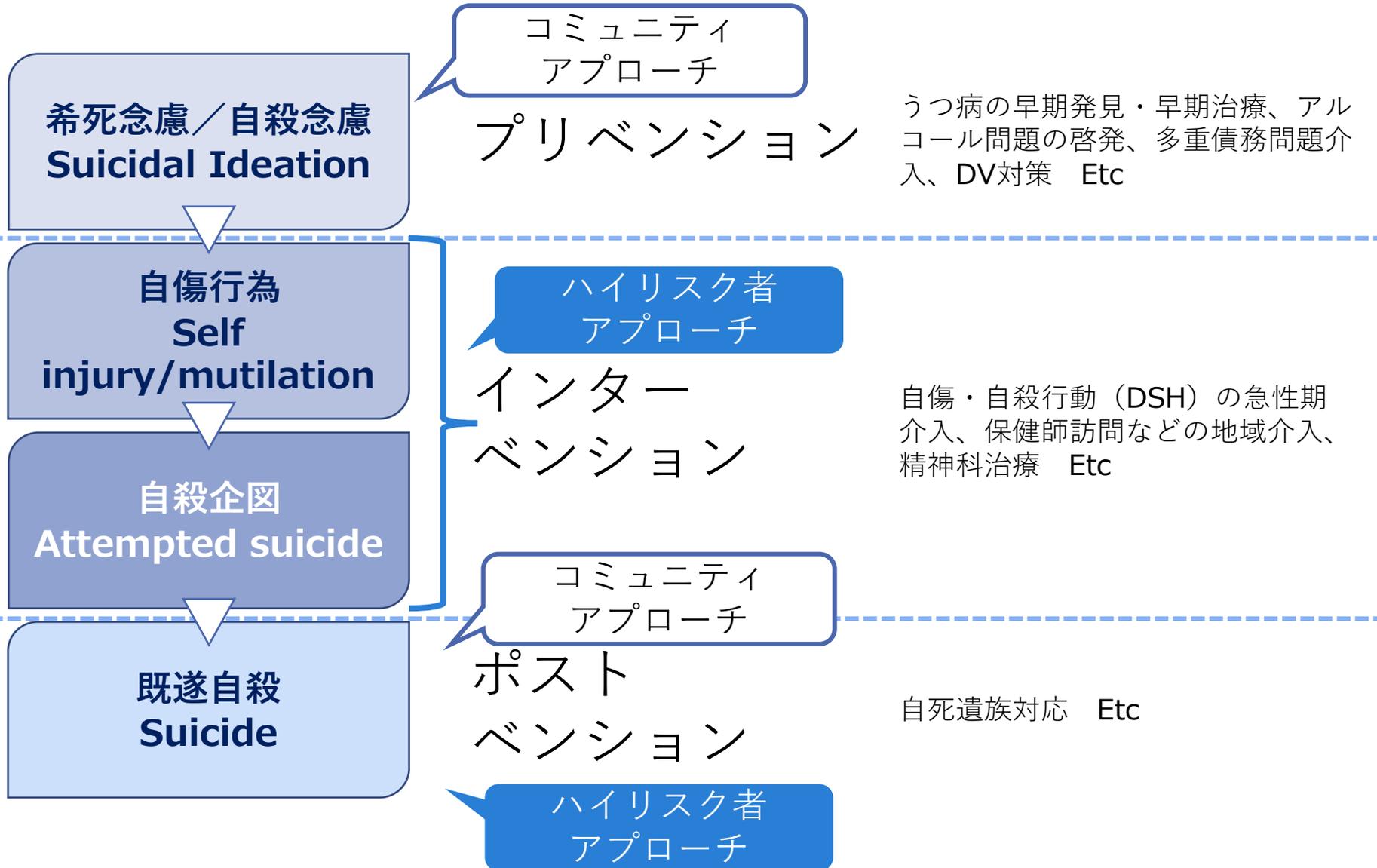
1) 国立病院機構熊本医療センター精神科,

開示すべき利益相反は存在しません。

効果的な自殺対策とは

- ハイリスク者アプローチと、コミュニティアプローチの連動が必須
- 地域の実情（エビデンス）に即した立案が重要

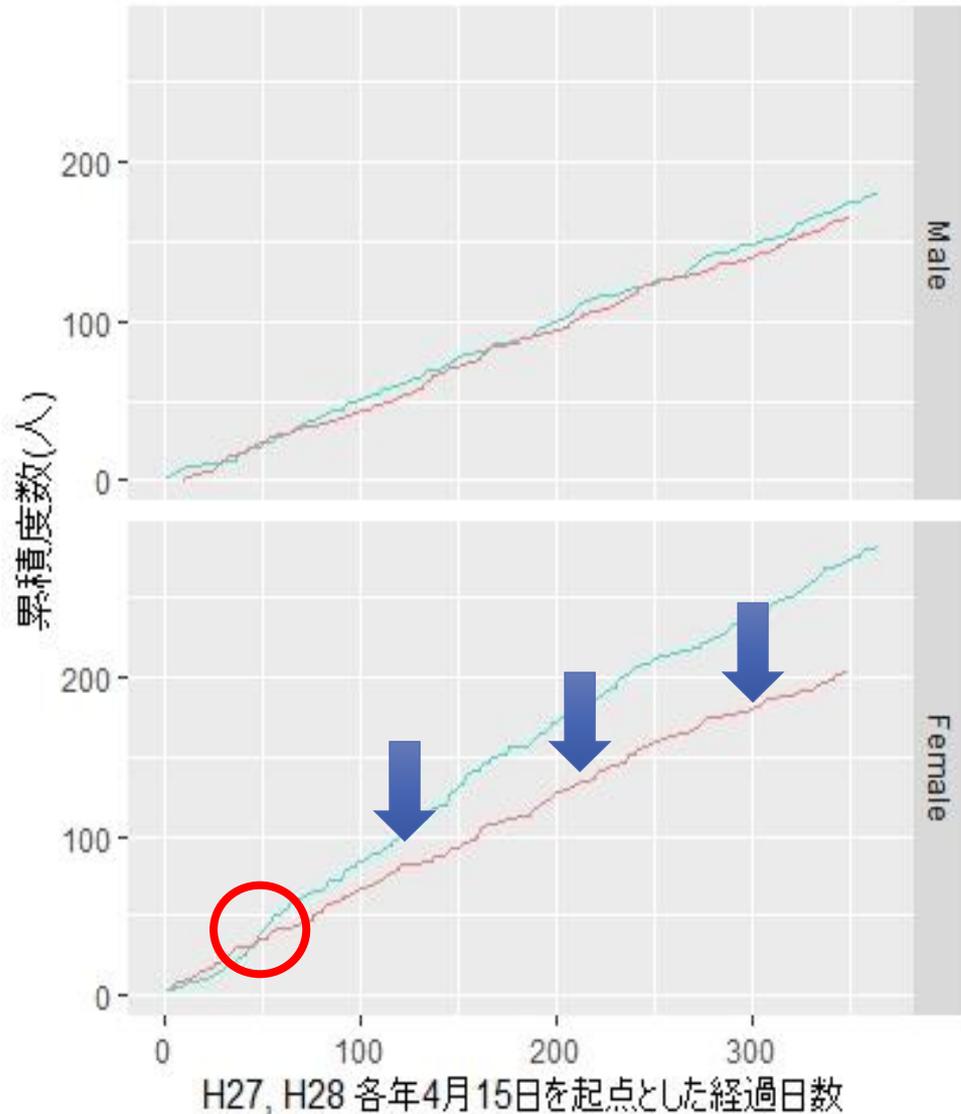
自殺のプロセスと予防活動



効果的な自殺対策とは

- ハイリスク者アプローチと、コミュニティアプローチの連動が必須
 - 救急病院群－精神科病院群との**確実な連携**強化と、それをバックアップする熊本医療センター
 - 「こころといのちの支援事業」の人員拡大と段階的な広域社会実装
- 地域の実情（エビデンス）に即した立案が重要
 - **KSSA2019の活用**

KSSA2019の主要結果 1



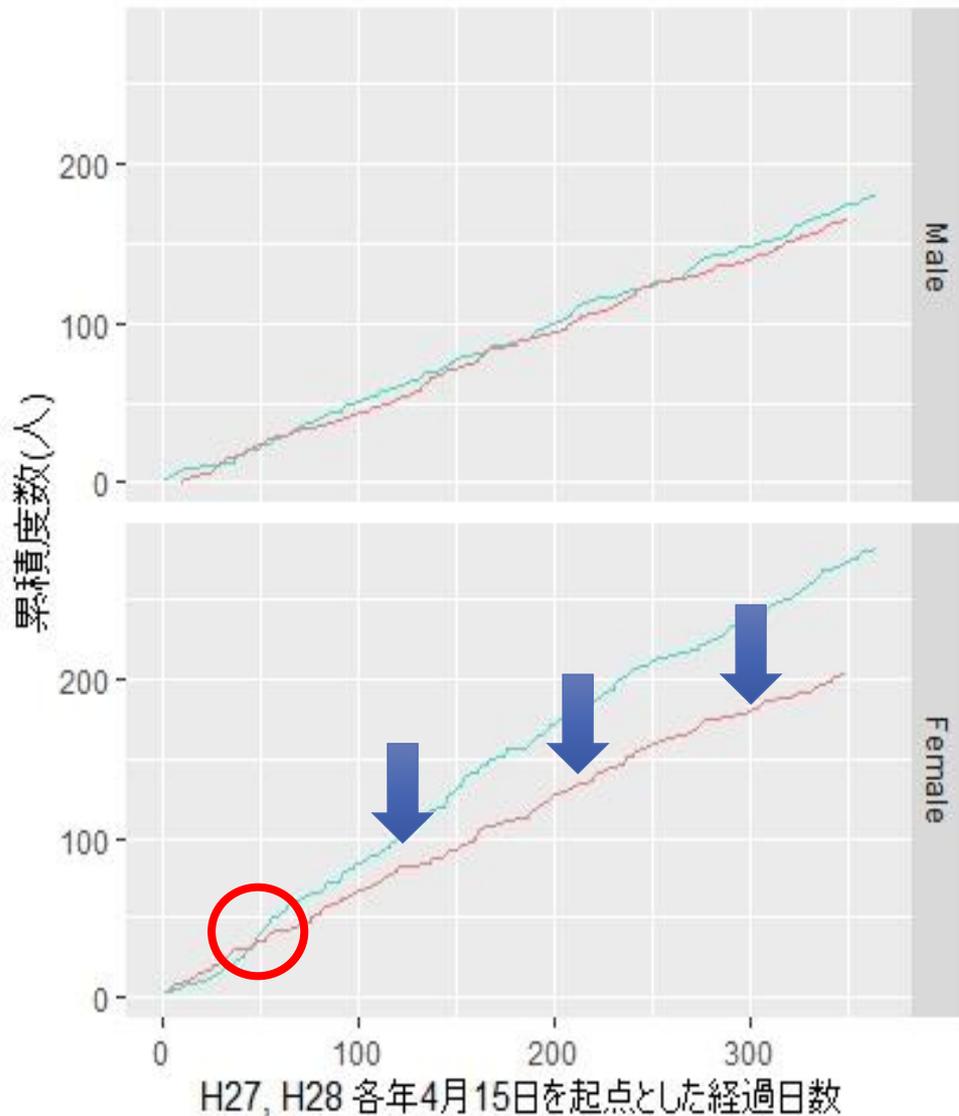
KSSA2019とは、
H27・28年度
自傷・自殺関連の主訴で、熊本県
下の45精神科病院を初診した患者
に関する後ろ向き調査 (N 855)

震災前後区分

- 震災前
- 震災後

平成28年熊本地震の前年
と、被災年とを比較する
地域実態調査

KSSA2019の主要結果 1



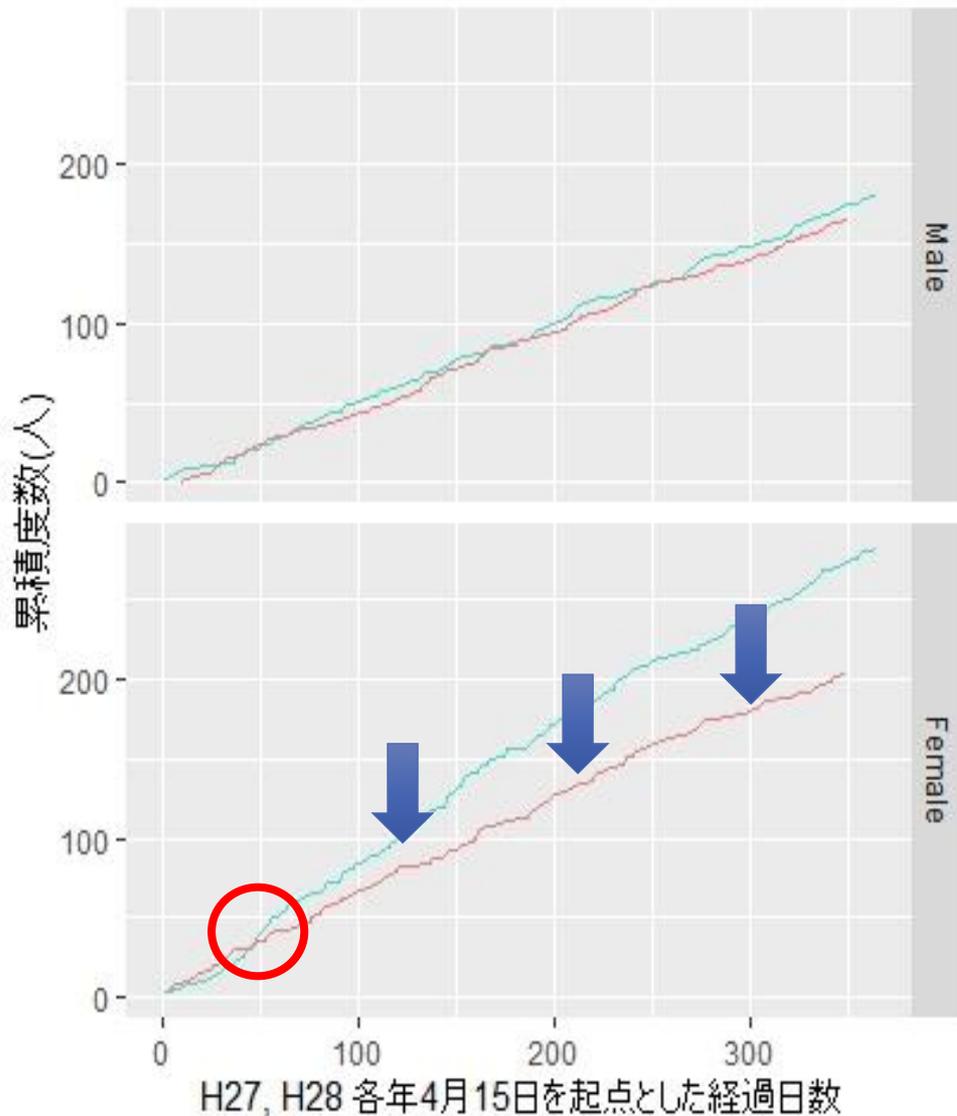
熊本地震後、
自殺関連行動による病院
初診は**特に女性**において
抑制がみられた。
特に発災後**50日**を経過
したころからその変化が
明らかになっていた。

熊本県における自殺死者数 H27 v H28

年	性別	自殺者数	自殺死亡率	年換算した自殺死亡率	年齢(10歳階級)別								不詳
					20歳未満	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80歳以上	
2015	男性	269	31.31	31.31	1	22	34	36	63	48	37	28	0
2016	男性	217	25.37	25.37	4	15	33	26	35	44	30	30	0
2015	女性	92	9.59	9.59	5	3	9	14	14	20	14	13	0
2016	女性	112	11.73	11.73	3	11	5	10	23	19	18	23	0

- 人口動態統計では、平成27年から平成28年にかけて熊本県の**男性自殺死者が大幅に減り、女性では前年より増加**していたが、調査結果とは逆相関の関係にあった。

KSSA2019の主要結果 1



熊本地震後、
特に女性において精神科
受診抑制

震災前後区分

— 震災前
— 震災後

熊本地震の年、
熊本県の男性自殺死者が
大幅に減少、**女性では前
年より増加**

コロナパンデミックにおける自殺

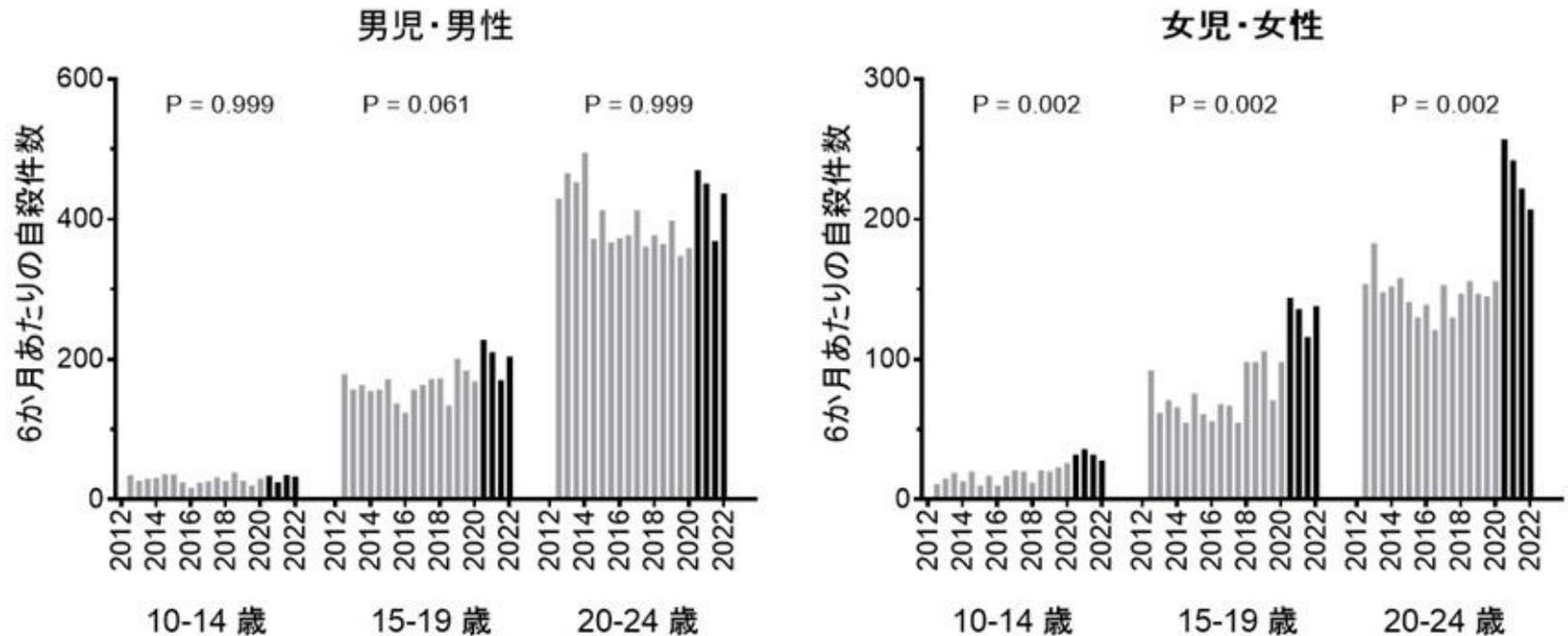


図1 2012年7月から2022年6月までの自殺者数の推移（左：男児・男性／右：女児・女性） 黒いグラフは新型コロナ禍の間の自殺者数の推移

横浜市立大学・慶応義塾大学 2023 Lancet Psychiatry

- 新型コロナ禍による 10-24 歳の自殺増加は女児・女性のみ顕著である

▶ (考察) 災害後、女性は女性役割を負う中で支援につながりにくくなり、自殺リスクが悪化する可能性

支援につながりにくくなる若年女性への自殺対策

・ハイリスク者アプローチ

- 自傷・自殺未遂が起きたときが「一期一会」のチャンス
 - ▶R4年、「自損行為」傷病者の搬送先、KMC 110件、**他の救急病院 134件**
- 救急病院と精神科病院との確実な連携
- 「こころといのちの支援事業」

・コミュニティアプローチ

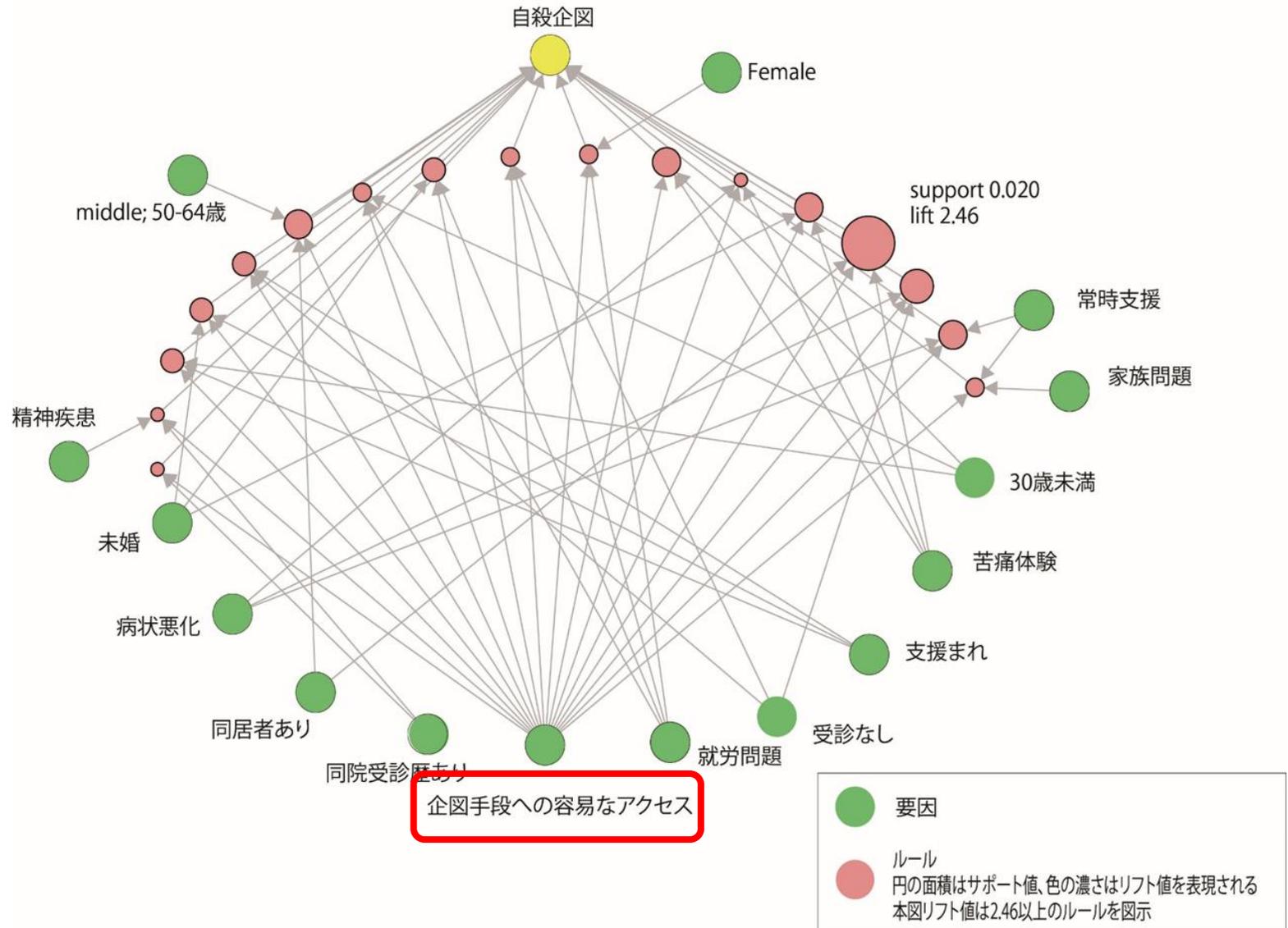
- SNS相談
- 居場所作り
- 企図手段への**アクセス制限**
- 学童期からの**自殺予防教育**

高校生から急増し始めるので、義務教育のなかで終わらせておく必要がある

企図手段へのアクセス制限

KSSA2019

自殺企図に関連した要因の組合せ(ルール)を示すネットワーク図



自殺予防教育について

- メンタルヘルスへの偏見をなくすことも大事であるが、芯から自分を大事にし、自己主張的になれるメンタリテイの育成が必要である。
- このため、大人の側にある、決めつけ・押しつけや、勝手な期待、見て見ぬふりなどを除去する必要がある。大人（教師）側のゲートキーパー養成は重要である。
- 熊本においては、五福小学校卒業生の痛ましい自殺死亡例からの学びとして、児童が抱えきれない苦痛を抱える前に、加害教師の同僚において、加害教師からの態度で不調をきたしたものがいるなど、すでに危険兆候は出ていたわけで、この予兆を活用できなかった振り返りが必要である。そして、同じような同僚の被害があった時、今、自分たちなら、自分たちの学校ではどういう対策が取れるかのシミュレーションが必要である。